

# 糖尿病・内分泌内科にご興味をお持ちの医師のみなさんへ

- ◎三重県内で唯一の「日本糖尿病学会」、「日本内分泌学会」、2学会の認定教育施設です。  
また三重県で唯一の「日本肥満学会 認定肥満症専門病院」です。
- ◎臨床業務だけでなく、臨床研究、基礎研究にも力を入れています。
- ◎若手医師、女性医師が多く、明るく、風通しの良い雰囲気です。

当科は先生方を歓迎します！

## ◆当科について

当科は風通しがよく、明るく、ざっくばらんな雰囲気です。新研修医制度以後に入局した若手医師が多く、みんなで力を合わせて医局を運営しています。

また、子育て中の女性医師も多く在籍しており、お互い支え合いながら勤務しています。育児中の方には一定期間の宿直の免除や、短時間勤務の提案など、勤務を継続しスキルを維持できるよう、柔軟に対応、支援しています。

## ◆ぜひお気軽にご連絡ください。

当科では、病院見学、就業についての相談を随時受け付けております。連絡先は科長あてですが、ご要望に合わせて相談しやすい医師をご紹介します。

まずは、メールにて、お気軽にご連絡ください。

関連病院についてのご相談も可能です。(桑名市総合医療センター、四日市羽津医療センター、村瀬病院、三重病院、三重中央医療センター、伊勢赤十字病院など)

連絡先

Mail: [hisho3dm@clin.medic.mie-u.ac.jp](mailto:hisho3dm@clin.medic.mie-u.ac.jp)

タイトルは「矢野科長あて:糖尿病・内分泌内科についての相談」としてください。

電話 059-232-1111 内線 6481

## ◆糖尿病・内分泌疾患について

現代日本では食生活の欧米化や運動不足により国民の6人に1人に糖尿病の疑いがあると言われており、患者の数も増大の一途をたどっております。しかし実際は専門医の不足などもあり、早期からの介入、血糖の制御などの治療が十分になされているとはいえません。糖尿病はその病態の解析、診断、治療の面において、近年、飛躍的に進歩した分野といえます。原因遺伝子の特定、脂肪細胞の機能解析、新たに解明された病態に基づく新規治療薬の開発、遺伝子工学により開発されたアナログインスリンの導入、 $\beta$ 細胞の移植や再生などが研究、臨床応用されてきました。今後も最先端の技術を駆使して、理想的な血糖コントロールを求めて進歩していくものと思われま。

内分泌領域では、甲状腺疾患が最も多く、下垂体、副甲状腺、副腎疾患など、様々な疾患を診療しております。これらの疾患を診療する機会を得られるのは、やはり大学病院ならではのです。的確な診断と治療で患者さんの予後と QOL が大いに向上するやりがいのある診療科です。また内分泌疾患は、一度その疾患の診療を経験しますと飛躍的に診断能力が向上しますので、非常に有意義な経験ができると思います。